

商 工 觀 光 課

1 管内商工業等の概況

(1) 商業の概況

インターネットが日常化する等、ライフスタイルの変化に伴い消費行動が多様化していることから、空き家・空き店舗を活用した新たな出店等も見受けられる。

平成28年の管内の商業（卸・小売業）は、事業所数、従業者数、販売額ともに増加した。

	平成26年（A）			平成28年（B）			増減（B/A）		
	事業所数 （所）	従業者数 （人）	販売額 （億円）	事業所数 （所）	従業者数 （人）	販売額 （億円）	事業所数 （%）	従業者数 （%）	販売額 （%）
管内	5,085	38,917	17,348	5,240	39,276	19,093	103.0	100.9	110.1
対全県比（%）	25.4	27.6	34.7	25.3	26.9	34.9	—	—	—
全県	19,989	141,126	49,948	20,725	146,166	54,771	103.7	103.6	109.7

出典：商業統計調査及び経済センサス活動調査（統計の母数が異なる）

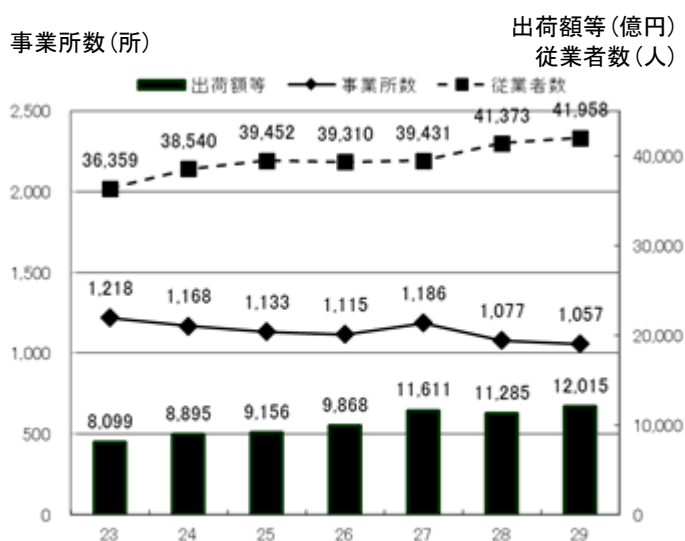
(2) 工業の概況

管内の工業（製造品出荷額等）は、東日本大震災が発生した平成23年を底に緩やかに増加し、平成29年は海外経済の回復や円安基調等により、前年より増加した。

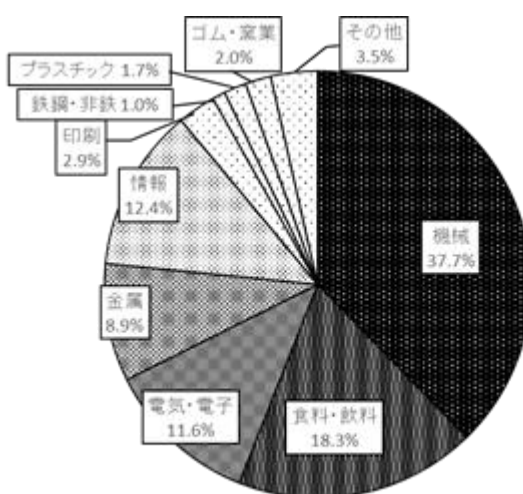
平成29年の主力業種は、機械（全体の37.7%）、食料・飲料（同18.3%）、電気・電子（同11.6%）である。

	平成28年（A）			平成29年（B）			増減（B/A）		
	事業所数 （所）	従業者数 （人）	出荷額等 （億円）	事業所数 （所）	従業者数 （人）	出荷額等 （億円）	事業所数 （%）	従業者数 （%）	出荷額等 （%）
管内	1,077	41,373	11,285	1,057	41,958	12,015	98.1	101.4	106.5
対全県比（%）	21.6	20.8	19.4	21.4	20.7	19.5	—	—	—
全県	4,994	198,887	58,319	4,932	202,731	61,681	98.8	101.9	105.8

工業の推移（平成23年～平成29年）



業種別製造品出荷額等の構成比（平成29年）



出典：工業統計調査及び経済センサス活動調査

(3) 観光地利用者数及び消費額の概況

管内の平成30年の観光地利用者数は約1,499万人（対前年比99.0%）、観光消費額は約665億円（対前年比100.0%）となった。

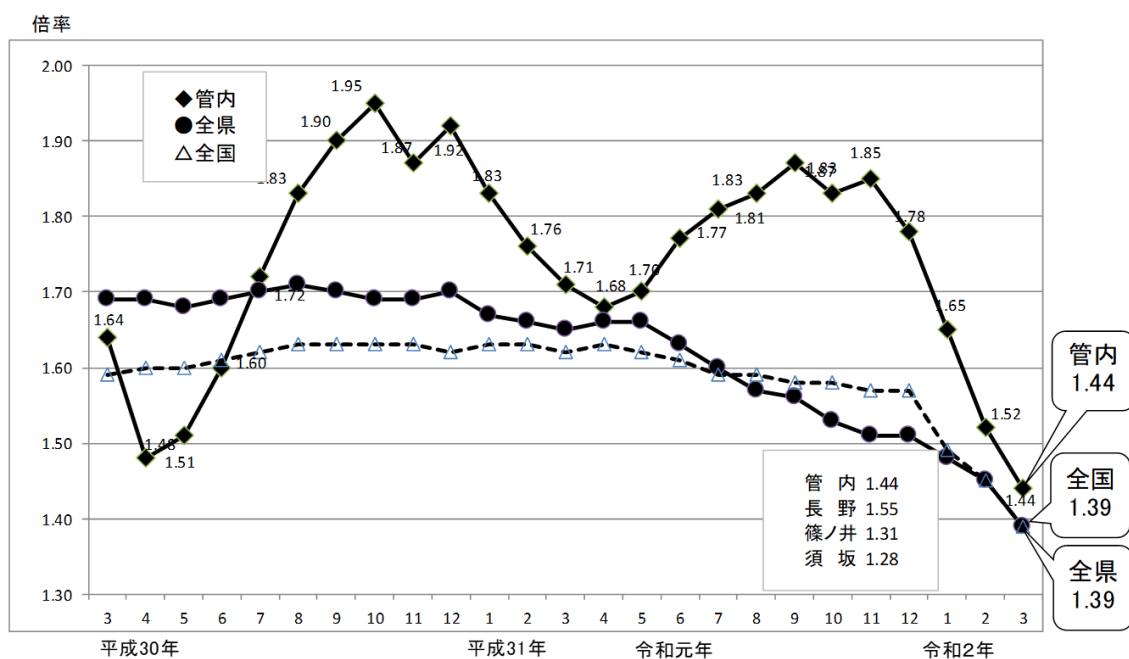
施設のリニューアルにより観光客数を伸ばした観光地がある一方、信州DCの終了に伴い実施したイベント数の減少などにより、観光客数が減少した観光地もあった。

市町村	平成29年(A)				平成30年(B)				B/A(%)		備考
	観光客数(万人)		消費額(億円)	観光客数(万人)		消費額(億円)	観光客数	消費額			
	県内	県外		県内	県外						
長野市	1,077	563	514	480	1,067	556	511	479	99.1	99.8	増: 鬼無里
須坂市	94	56	39	25	87	51	37	25	92.3	100.0	減: 須坂温泉
千曲市	143	78	65	77	135	71	63	74	94.6	96.7	増: さらしなの里
坂城町	0.3	0.2	0.1	0.1	4.0	4.0	0.0	0.1	1,333.3	100.0	H29.アユの里→H30・さかき千曲川バラ公園
小布施町	16	5	11	2	15	4	10	1	93.8	66.7	減: フローラルガーデン小布施
高山村	53	28	25	21	53	27	26	22	100.0	105.3	
信濃町	87	53	35	45	93	40	53	47	106.9	104.9	増: 野尻湖・一茶遺跡
飯綱町	43	34	9	15	44	35	9	15	102.3	100.0	増: 飯綱東高原
小川村	2	0.3	2	2	1	1	1	1	50.0	66.7	減: 大洞高原
管内計	1,514	816	698	665	1,499	790	710	665	99.0	100.0	

注) それぞれ単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(4) 有効求人倍率の推移

管内の有効求人倍率は、平成30年10月をピークに、最近では新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、下降傾向となっている。



注) 1管内数値は、長野、篠ノ井、須坂の各職業安定所の有効求人数及び有効求職者数の合計値より算出。
2 全国及び全県の数値は、季節調整値。

2 商工・観光振興の取組

(1) 成長産業創出

ア 中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認

既存企業の経営革新や創造的な事業活動を支援するため、中小企業等経営強化法に基づき、新たな商品開発やサービス展開を行おうとする事業者の「経営革新計画」を承認し、低利融資や国の補助制度等により支援する。

	平成30年度	令和元年度
経営革新計画承認件数 (件)	23	8

イ 技術開発・提案力向上等の支援

中小企業の技術開発や提案力向上等を支援するため、関係する支援機関等と連携し、補助制度の活用を促進した。

補助制度の名称	令和元年度採択実績
世界市場展開のための研究開発支援事業（ものづくり振興課）	3件
AI・IoT等先端ツール導入支援事業（産業立地・経営支援課）	1件
AI・IoT等先端技術活用地域課題解決型モデル創出事業（産業立地・経営支援課）	2件

(注) 上記はすべて、令和元年度の県の新規事業

ウ 創業の支援

地域経済を担う次世代産業を創出するため、創業認定による法人事業税の課税免除等を図るほか、関係する支援機関を通じて経営・技術等の支援を行い、日本一創業しやすい環境づくりを進める。

内 容	令和元年度実績	機 関
創業認定（課税免除）	認定件数24件 (管内累計394件)	長野地域振興局
創業相談・助言	相談件数：408件 創業件数：24件	ながの創業サポートオフィス (長野県中小企業振興センター内)
技術研究開発支援	利用事業者数8社 (R元. 4. 1 現在)	創業支援センター (工業技術総合センター内)

エ 産学官連携による地域企業への技術シーズ普及事業

アクア・イノベーション拠点が研究する高機能膜等の優位性のある技術シーズ（種）を生かし、産学官連携により地域企業への技術普及や研究開発力の向上を支援する。

内 容	平成30年度	令和元年度
管内企業訪問による技術シーズ紹介及びフリーディスカッション	電子部品等製造業 2 件、 農業 1 件	環境関連装置製造業 1 件、 食品製造業 4 件
マッチングセミナーの開催	H30. 9. 25（参加者15名）	R元. 12. 5（参加者32名）

(2) 企業立地の支援

ア 企業立地動向

	平成30年		令和元年	
	件 数 (件)	面 積 (ha)	件 数 (件)	面 積 (ha)
管 内 (a)	3	1. 5	3	1. 4
県 内 (b)	40	31. 4	30	59. 5
(a) / (b)	7. 5%	4. 8%	10. 0%	2. 3%

出典：工場立地動向調査（1,000㎡以上の工場用地取得企業対象）

イ 産業誘致の促進

信州ものづくり産業投資応援条例（助成金、不動産取得税の課税免除）及び地域未来投資促進法（不動産取得税の課税免除等）に基づき支援している。

なお、地域内の投資促進を図り地域経済の好循環を実現するため、地域未来投資促進法に基づき、長野地域基本計画（管内 8 市町村、坂城町は上田地域基本計画）、須坂市地域基本計画、千曲市地域基本計画が新たに策定され、平成29年12月22日に国の同意を得た。

地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する事業者が策定する、地域経済牽引事業を承認し、引き続き支援（不動産取得税の免除等）していく。

(件)

		平成30年度	令和元年度
助成金（信州ものづくり産業応援助成金認定）		0	1
不動産取得税 の課税免除	信州ものづくり産業投資応援 条例に基づく承認	2	2
	地域未来投資促進法に基づ く承認	0	1
地域経済牽引事業計画承認（地域未来投資促進法）		5	6

(3) 地域資源活用・農商工連携の促進

ア 「ものづくり産業振興戦略プラン2018～2022」に基づく産業イノベーション創出型プロジェクト

(ア) 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成

醸造蔵に存在する有用発酵微生物や豊富な果物等の地域資源を活用した、発酵食品・機能性食品産業の集積形成を目指す。

平成30年度 ～ 令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を効果的に進めるため、長野及び北信地域振興局管内の企業、県テクノ財団や信州大学等の関係機関をメンバーとするコンソーシアム（統括的な推進体制）を設置。 ・県テクノ財団や信州大学と連携し、長野及び北信地域振興局管内の15の醸造蔵にある地域遺伝資源（発酵微生物等）の探索及び機能性の検証等を実施。
令和2年度 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・県テクノ財団や信州大学と連携し、昨年度に引き続き、長野及び北信地域振興局管内の地域遺伝資源（発酵微生物等）の探索及び機能性の検証等を実施するとともに、その成果を活用した商品化に向けたコーディネート活動等に取り組む。

(イ) 高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成

高付加価値製品である希少糖をキノコ廃培地から創出するビジネスモデルを構築し、未利用バイオマスを活用した新規産業の集積形成を目指す。

平成30年度 ～ 令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・キノコ廃培地からの高純度希少糖生産方法の研究開発委員会に参加し、プロジェクトの進捗状況確認や課題等について意見交換を実施。 ・希少糖抽出後の残渣の有効活用（ペレット化によるバイオマス燃料の活用等）について、専門家を招聘して検討会を開催。廃プラスチックとの配合方法等の検討を実施。
令和2年度 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、上記の「研究開発推進委員会」に参加し、希少糖の高効率最適生産方法確立に向けた課題等の情報を収集。 ・希少糖抽出後の残渣活用について、燃料用ペレットや建築資材の商品化に向け、専門家を招聘の上、さらなる調査検討を実施。

イ 果物を活かした新商品開発支援による付加価値の向上

食料品・飲料製造業の製造品出荷額等が県内1位という長野地域の強みを生かし、果物を活用した新商品の開発等について支援する。

令和元年度	令和2年度（予定）
<ul style="list-style-type: none"> ・長野地域産の果物を活用し、新技術を用いた果物コンポートの商品化を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の果物を活用した新たな果物加工商品の開発等を支援

ウ 伝統的工芸品産地活性化事業

管内の伝統的工芸品産地の後継者確保や地域ブランド確立を支援し、産地の活性化を図る。

令和元年度	令和2年度（予定）
・首都圏（銀座 NAGANO）での熟練職人によるプレゼン及び製作実演の実施（対象産地：信州打刃物、戸隠竹細工、松代焼）	・首都圏（銀座 NAGANO）での熟練職人によるプレゼン及び製作実演の実施（対象産地：信州組子細工、県手作り打上花火、信州手描友禅）

（４）中小企業融資制度による金融支援

令和元年度の管内における中小企業融資制度資金（中小企業振興資金を除く）の利用状況は、10月の東日本台風災害の発生もあり、件数は前年度比231.5%、金額は前年度比315.2%とそれぞれ増加した。

区 分	平成30年度		令和元年度		
	件 数	金 額(千円)	件 数	金 額(千円)	
小規模企業発展資金	1 (皆増)	800 (皆増)	5 (500.0%)	30,300 (3787.5%)	
経営健全化支援資金	33 (103.4%)	403,590 (38.5%)	122 (369.7%)	1,893,450 (469.2%)	
災害対策	0 —	0 —	94 (皆増)	1,487,130 (皆増)	
信州創生推進資金	53 (80.3%)	404,590 (85.9%)	80 (150.9%)	712,590 (176.1%)	
経営改善サポート資金	5 (62.5%)	64,500 (35.8%)	6 (120.0%)	116,880 (181.2%)	
管内合計	92 (68.7%)	873,480 (51.4%)	213 (231.5%)	2,753,220 (315.2%)	
	設 備	38 (102.7%)	391,530 (100.1%)	82 (215.8%)	1,225,540 (313.0%)
	運 転	54 (55.7%)	481,950 (36.8%)	131 (242.6%)	1,527,680 (317.0%)
県 全 体	1,055 (93.9%)	9,401,370 (83.4%)	1,203 (114.1%)	11,726,560 (125.4%)	
	設 備	458 (104.8%)	4,526,927 (99.3%)	504 (110.3%)	5,584,714 (124.7%)
	運 転	597 (87.0%)	4,874,443 (72.6%)	699 (117.1%)	6,141,846 (126.0%)

※下段は、対前年度比率

(5) 観光の振興

ア 地域連携プロジェクト「ながの果物語り」(果物を活かしたインバウンドの促進)

(ア) 令和元年度の取組実績

項 目	内 容
① 戦略・態勢づくり	<p>○長野地域観光戦略会議 期 日 令和2年2月12日(水) 議 題 ・「体験」と「交流」を軸とした広域観光の推進 ・果物を活用したインバウンド誘客の推進等</p>
② 受入環境整備	<p>○観光案内力向上のための研修会 広域的な観光案内力の向上とネットワーク化を図るため、観光案内所職員やガイド、語り部等を対象として研修会を開催した。</p> <p>・第1回 期 日 令和元年7月11日(木) 内 容 戸隠ガイド組合による重要伝統的建造物群保存地区に選定されている町並み・歴史・伝説等のガイド研修、戸隠竹細工の解説・実演、意見交換等 参加者 31名(観光案内所職員、通訳ガイド等)</p> <p>・第2回 期 日 令和2年3月4日(水) ※須坂市において、蔵の街並みをテーマに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p> <p>○農家民宿事業者の開拓 訪日教育旅行者等の受入れ体制を整備するため、信濃町の農家民宿事業者と連携し、先進地視察、実務研修会を行い農家民宿事業者の開拓を行った。</p> <p>・「農家民宿推進のための先進地視察」の実施 期 日 令和元年7月2日(火) 内 容 伊那市観光協会が受け入れた中国からの訪日教育旅行の受入れ状況を視察 参加者 16名</p> <p>・「訪日教育旅行受入のための実務研修会」の実施 期 日 令和元年12月17日(火) 内 容 訪日教育旅行を受入れるための、具体的な手法についての研修会を実施 参加者 25名</p>
③ プロモーション	<p>○「長野県インバウンド商談会2019」への参加 期 日 令和元年6月4日(火) 概 要 体験施設事業者も参加し、商談会のブースを訪れた旅行業者11社に果物等の地域の魅力を紹介</p> <p>○ツアーの造成の促進(モニターツアーの実施) 期 日 令和2年2月6日(木)、22日(土)、23日(日) 場 所 長野市 概 要 野沢温泉村に滞在する外国人旅行者を対象に、長野市松代町での伝統文化体験を行う、モニターバスツアーを実施。3ツアーで12名が参加</p>

④ プロモーションにより実現したツアー等の状況	<p>○軽井沢町のタクシー会社と連携し、外国人旅行者を対象とした軽井沢町を出発し、善光寺の参拝や果物狩りを行うタクシーツアーコースを開設</p> <p>○旅行会社と連携した白馬村からの長野地域を巡るバスツアーを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬村、地獄谷野猿公苑、小布施町を巡るバスツアーの催行(令和元.12.30・令和2.1.2 2ツアー 17名参加) ・白馬村、地獄谷野猿公苑、長野灯明まつりを巡るバスツアーの催行(令和2.2月 3ツアー 13名参加) ・白馬村、地獄谷野猿公苑、善光寺等を巡るバスツアーの催行(令和元.12月～令和2.2月 17ツアー 139名参加)
-------------------------	---

(イ) 令和2年度の取組状況(予定)

項 目	内 容
① 戦略・態勢づくり	<p>○長野地域観光戦略会議の開催 「学びツーリズム」に対する成果や課題等を、市町村・観光協会等にフィードバックし、共有を図る。 期 日 令和3年2月頃 内 容 「学びツーリズム」の確立・推進による広域観光地域づくり、インバウンドの推進について。</p>
② 受入環境整備	<p>○観光案内力向上のための研修会内所職員情報交換会の開催 広域的な観光案内力の向上とネットワーク化を図るため、観光案内所職員やガイド、語り部を対象として研修会を開催する。 期 日 未定 内 容 「学びツーリズム」の確立・推進、インバウンドへの対応等</p> <p>○農家民宿事業者の開拓 訪日教育旅行者等の受入れ体制を整備するため、長野管内の農家民宿事業と連携を図り実務研修会等を行い、農家民宿事業者を開拓する。 ・農家民宿の研修会の実施 期 日 未定 内 容 受入のための基本的な事項、関係法令等の研修</p>
③ プロモーション	<p>○「長野県インバウンド商談会2020」への参加 期 日 未定 概 要 長野地域の果物を活用した体験等を旅行会社に紹介</p> <p>○モニターツアーの実施 長野地域の近隣に滞在する外国人旅行者を対象に、長野灯明まつり等の見学や、長野市松代町での伝統文化体験を行う、モニターバスツアーを実施する。</p>

イ 地域連携プロジェクト:「体験と交流」を軸とした地域の特徴を活かした広域観光の推進

(ア) 令和元年度実績

項 目	内 容
① 「学びツーリズム」の確立・推進	<p>○モニターバスツアーの催行 長野地域の特徴や強みを活かしたテーマに基づき、地元ガイドや語り部とともに学び(体験・交流)ながら圏域内を周遊する「学び</p>

	<p>「学びツーリズム」の確立・推進を図るため、メディアやインフルエンサー、首都圏在住者等を対象にモニターバスツアーを4回実施した。</p> <p>旅行商品化に向けたプロモーションとともに、「学びツーリズム」のコンセプトや取り組みの方向性、長野らしさを活かしたテーマ設定等について、評価・助言をいただいた。</p> <p>また、台風19号災害の直後であったことから、被災地の現状とともに観光には影響がないことを、参加者の皆様に直接お伝えした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回バスツアー <ul style="list-style-type: none"> 日 時 令和元年10月18日（金） テーマ 産業（日本酒） ※長野駅を起点とした着地型 参加者 メディア、インフルエンサー等15名 ・第2回バスツアー <ul style="list-style-type: none"> 日 時 令和元年11月16日（土） テーマ 歴史（刀と戦国） ※首都圏（池袋駅）発着型 参加者 首都圏在住の一般参加者24名 ・第3回バスツアー <ul style="list-style-type: none"> 日 時 令和元年11月23日（土） テーマ 発酵・長寿（発酵文化） ※首都圏（池袋駅）発着型 参加者 首都圏在住の一般参加者42名 ・第4回バスツアー <ul style="list-style-type: none"> 日 時 令和元年11月30日（土） テーマ 伝統・文化（工芸と食） ※長野駅を起点とした着地型 参加者 首都圏在住の一般参加者20名 <p>○長野地域観光戦略会議の開催</p> <p>「学びツーリズム」への取り組み、参加者からの評価等を、市町村・観光協会等にフィードバックし、取り組みの方向性の共有を図った。</p> <p>日 時 令和2年2月12日（水）</p> <p>内 容 「学びツーリズム」の評価フィードバック 旅行エージェントによる講演・アドバイス</p>
<p>② 観光案内人材の育成</p>	<p>○観光案内力向上のための研修会の開催（再掲）</p> <p>広域的な観光案内力の向上とネットワーク化を図るため、観光案内所職員やガイド、語り部等を対象として研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 <ul style="list-style-type: none"> 期 日 令和元年7月11日（木） 内 容 戸隠ガイド組合による重要伝統的建造物群保存地区に選定されている町並み・歴史・伝説等のガイド研修、戸隠竹細工の解説・実演、意見交換等 参加者 31名（観光案内所職員、通訳ガイド等） ・第2回 <ul style="list-style-type: none"> 期 日 令和2年3月4日（水） <p>※須坂市において、蔵の街並みをテーマに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>

④ 広域観光情報の発信	○デジタルサイネージを活用した観光情報の発信 テレビ信州との協働により、道の駅（信濃町、小川村）等にデジタルサイネージを設置し、観光・イベント情報や動画による管内の魅力発信映像を配信・放映することにより、圏域内における周遊観光を図った。
-------------	---

(イ) 令和2年度取組状況（予定）

項 目	内 容
① 「学びツーリズム」の確立・推進	○「学びツーリズム」の普及・推進 元気づくり支援金等を活用した、市町村、団体、民間事業者等との連携による「学びツーリズム」の普及・実施を図るための伴走支援を行う。 ○ショートムービーを活用したWebプロモーション SNSと親和性の高いショートムービーを活用し、専用Webにて情報発信を行うことにより、「学びツーリズム」の普及に向けた地域の取り組みの下支えを図る。 ○メディアトリップ（日本酒ツーリズム）の開催 善光寺御開帳等を見据え、北信地域の酒蔵が連携して観光資源化に向けた取り組みとの協働により、首都圏との近接性を活かした長野地域における日本酒ツーリズムの確立を図る。 ○長野地域観光戦略会議の開催 「学びツーリズム」に対する成果や課題等を、市町村・観光協会等にフィードバックし、共有を図る。 期 日 令和3年2月頃 内 容 「学びツーリズム」の確立・推進による広域観光地域づくり
② 観光案内人材の育成	○観光案内力向上のための研修会の開催（再掲） 広域的な観光案内力の向上とネットワーク化を図るため、観光案内所職員やガイド、語り部を対象として研修会を開催する。 期 日 未定 内 容 「学びツーリズム」の確立・推進、インバウンドへの対応等
③ 広域観光情報の発信	○デジタルサイネージを活用した観光情報の発信 テレビ信州との協働により、道の駅（信濃町、小川村）等にデジタルサイネージを設置し、観光・イベント情報や動画による管内の魅力発信映像を配信・放映し、圏域内における周遊を図る。

ウ 観光客安全対策に係る取組状況（予定）

項 目	内 容
① 観光地	○夏の観光地安全対策パトロール 夏季観光シーズン前に、県・市町村職員、関係事業者等が、高原やキャンプ場等のパトロールを実施 ・期 日 令和2年6月～7月

② スキー場	<p>○冬の観光客安全対策連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和2年11月 ・内 容 昨シーズンの事故状況についての情報交換 等 <p>○スキー場安全対策パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和3年1月
③ 山岳遭難防止	<p>○山岳遭難防止啓発活動</p> <p>春季</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和2年4月～5月 ・内 容 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、登山口にポスター等を掲示し入山自粛の呼びかけを実施。 例年、入山規制解除に併せて行っていた高山村での啓発活動（街頭チラシ配布）は、村の通年入山禁止の決定により中止 <p>夏季</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和2年7月～9月 ・内 容 関係機関と連携し、登山口において啓発を実施

被災事業者への支援について

商工観光課

(1) 相談対応

ア 説明会・個別相談会の開催について

中小企業等グループ補助金等の支援策の周知や利用促進を図るため、当振興局が本庁と連携して主催するとともに、商工会議所・商工会が主催する説明会等に当振興局職員が出席し、被災事業者の相談に対応した。

(ア) 当振興局主催

開催日 (場 所)	説明会 参加企業数	個別相談会 参加企業数
令和元年 12 月 9 日 (長野保健福祉事務所、 長野合同庁舎)	203 社	109 社
令和元年 12 月 11 日 (千曲市役所)	101 社	40 社
合 計	304 社	149 社

(イ) 商工会議所・商工会主催 (当振興局出席分)

開催日 (場 所)	主催者	相談企業数
令和元年 12 月 16 日 (長野市商工会豊野支所)	長野市 商工会	87 社
令和元年 12 月 17 日 (ホテル国際 21)	長野商工 会議所	126 社
令和元年 12 月 19 日 (小布施町商工会)	小布施町 商工会	11 社
令和元年 12 月 24 日 (千曲商工会議所)	千曲商工 会議所	32 社
令和元年 12 月 26 日 (長野市商工会豊野支所)	長野市 商工会	15 社
合 計		271 社

イ 地域窓口の開設

被災事業者の早期の事業再開に向けて、商工会、商工会議所等の支援機関との連携のもと、中小企業等グループ補助金等の相談や申請受付を行う地域窓口を管内 2 会場に開設した。

開催日	会 場	相談企業・団体数
令和 2 年 3 月 26 日	長野市商工会 豊野支所	2 社・1 団体
令和 2 年 4 月 8 日		4 社・1 団体
令和 2 年 3 月 27 日	千曲商工会議所	16 社・3 団体
令和 2 年 4 月 15 日		5 社・3 団体
合 計		27 社・8 団体

(2) 事業者における支援策の活用状況

令和2年8月12日現在

中小企業グループ補助金 (補助上限 1事業者 15億円)	グループ認定	補助金交付決定
	21グループ(279企業) (全県 36グループ)	50企業 (全県 113企業)
地域企業再建支援事業費補助金 (補助上限 1事業者 3,000万円)	申請件数	交付決定件数
	42企業 (全県 57企業)	12企業 (全県 22企業)
県制度資金の斡旋 (R元.10~R2.7)	特別経営安定対策(利率1.6%)	災害対策(利率0.8%)
	元年度 12件(167,680千円)	元年度 94件(1,487,130千円) 2年度 9件(321,640千円)